国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月３日

上場会社名	国際石油開発帝石株式会社			上場取引所	東
コード番号	1605		URL	http://www.inpex.co.jp	
代表者	(役職名) 代表取締役社長		(氏名)	北村　俊昭	
問合せ先責任者	(役職名) 広報・IRユニット　ジェネラルマネージャー		(氏名)	橘高　公久	(TEL) 03-5572-0233
四半期報告書提出予定日	平成24年８月９日		配当支払開始予定日		―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	310,806	5.4	187,164	6.2	207,314	16.3	69,954	74.1
24年３月期第１四半期	294,916	31.7	176,239	39.7	178,329	45.3	40,177	25.5

(注) 包括利益　25年３月期第１四半期　55,622百万円(　28.1%)　24年３月期第１四半期　43,417百万円(　200.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	19,160.96	―
24年３月期第１四半期	11,004.72	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	3,063,521	2,356,779	72.4
24年３月期	3,066,397	2,314,193	71.1

(参考) 自己資本　25年３月期第１四半期2,217,824百万円　　24年３月期2,179,251百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	3,000.00	―	4,000.00	7,000.00
25年３月期	―				
25年３月期(予想)		3,500.00	―	3,500.00	7,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	577,000	0.7	329,000	0.3	340,000	2.3	98,000	31.7	26,842.74
通期	1,089,000	△8.2	587,000	△17.2	607,000	△20.9	168,000	△13.4	46,016.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　有

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　1社（社名）INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	3,655,810株	24年３月期	3,655,810株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	4,916株	24年３月期	4,916株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	3,650,894株	24年３月期１Ｑ	3,650,894株

（注）甲種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施されています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税務条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報..... 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報..... 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報..... 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報..... 3
２．その他の情報..... 4
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要..... 4
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要..... 4
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... 4
３．四半期連結財務諸表..... 5
(1)　四半期連結貸借対照表..... 5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... 7
四半期連結損益計算書..... 7
四半期連結包括利益計算書..... 8
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... 9
(4)　継続企業の前提に関する注記..... 11
(5)　セグメント情報等..... 12
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... 13
(7)　重要な後発事象..... 13
４．参考情報..... 14
(1)　生産、受注及び販売の状況..... 14

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間は原油の販売数量の増加とガス価高により、売上高は前年同期比158億円、5.4%増の3,108億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比131億円、7.2%増の1,954億円、天然ガス売上高は前年同期比28億円、2.7%増の1,086億円となりました。当第１四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比2,294千バレル、11.7%増加の21,902千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比15,687百万立方フィート、16.6%減少の78,881百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比16,128百万立方フィート、20.1%減少の64,102百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比12百万立方メートル、3.1%増加の396百万立方メートル、立方フィート換算では14,779百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり110.77米ドルとなり、前年同期比2.20米ドル、1.9%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり14.74米ドルとなり、前年同期比1.44米ドル、10.8%の上昇となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり46円56銭となり、前年同期比3円96銭、9.3%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル80円14銭となり、前年同期比1円65銭、2.0%の円高となりました。

売上高の増加額158億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により100億円の増収要因、販売単価の上昇により116億円の増収要因、為替は売上の平均為替レートが円高になったことにより57億円の減収要因、その他の売上高は0.8億円の減収要因となりました。

一方、売上原価は、主にヴァンゴッホ油田やキタン油田における減価償却費の増加等により、前年同期比94億円、10.0%増の1,043億円となりました。探鉱費は主に米州の探鉱活動が減少したことにより、前年同期比49億円、73.8%減の17億円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比4億円、2.6%増の175億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比109億円、6.2%増の1,871億円となりました。

営業外収益は、権益譲渡益及び投資有価証券売却益の増加により、前年同期比191億円、180.1%増の297億円となりました。営業外費用は投資有価証券評価損の増加により、前年同期比10億円、12.2%増の95億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比289億円、16.3%増の2,073億円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比66億円、4.9%減の1,285億円、法人税等調整額は65億円となり、少数株主損益調整前四半期純利益は前年同期比296億円、69.6%増の721億円となりました。少数株主利益は22億円となり、以上の結果、四半期純利益は前年同期比297億円、74.1%増の699億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①　日本

天然ガスの販売価格が上昇したことにより、売上高は前年同期比13億円、5.5%増の260億円となり、営業利益は前年同期比9億円、24.3%増の48億円となりました。

②　アジア・オセアニア

為替が円高に推移したものの、原油の販売数量の増加及び販売価格の上昇により、売上高は前年同期比251億円、21.3%増の1,430億円、営業利益は前年同期比163億円、21.9%増の910億円となりました。

③　ユーラシア(欧州・NIS諸国)

油価が下落し、為替が円高に推移したものの、販売数量が増加したことにより、売上高は前年同期比2億円、1.3%増の200億円となりましたが、ACG油田のコスト回収額の増加により、営業利益は前年同期比15億円、13.9%減の98億円となりました。

④　中東・アフリカ

油価の下落、販売数量の減少並びに為替が円高に推移したことに伴い、売上高は前年同期比

106億円、8.1％減の1,205億円、営業利益は前年同期比83億円、9.0％減の845億円となりました。

⑤　米州

販売数量の減少により、売上高は前年同期比2億円、15.2％減の11億円となりましたが、探鉱費の減少により、営業損失は前年同期比34億円、81.0%減の8億円となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は3兆635億円となり、前連結会計年度末の3兆663億円と比較して28億円の減少となりました。資産減少の主な内訳は、有形固定資産が417億円、無形固定資産のその他が614億円増加したものの、有価証券が678億円減少、投資有価証券が708億円減少したことによります。

一方、負債は7,067億円で、前連結会計年度末の7,522億円と比較して454億円の減少となりました。このうち流動負債は3,278億円で、前連結会計年度末比399億円の減少、固定負債は3,788億円で、前連結会計年度末比55億円の減少となりました。

純資産は2兆3,567億円となり、前連結会計年度末比425億円の増加となりました。このうち、少数株主持分は1,389億円で、前連結会計年度末比40億円の増加となりました。

当第１四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の2,492億円から当第１四半期中に減少した資金388億円を差し引いた2,103億円となりました。

当第１四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、800億円となりました。これは主に、法人税等を支払った後の四半期純利益及び売上債権の回収額からの資金によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1,012億円となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入があったものの、権益取得による支出及び有形固定資産の取得による支出等が上回ったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、110億円となりました。これは主に、配当金の支払額によるものであります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期連結業績予想については、第1四半期の実績などを加味して修正しておりますが、主として以下の要因によります。

・本年5月時点の業績予想では下期に手続きが完了する前提としていた、昨年12月公表の大阪ガス株式会社並びに本年1月公表の東邦ガス株式会社及び東京ガス株式会社へのオーストラリア イクシスプロジェクトの権益の譲渡が本年 6 月に完了し、第 1 四半期中に当該譲渡益が発生したこと。
・上期に発生を予定していた探鉱投資額の一部が下期に発生する見込みとなったこと。
・原油価格が本年5月時点の業績予想の前提より若干上回って推移したこと。

また、平成25年3月期通期連結業績予想については、軽微な範囲にとどまりますが、第1四半期における実績などを加味して修正しております。

１.第２四半期連結累計期間業績予想（平成24年４月１日～平成24年９月30日）（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 （ Ａ ）	535,000	281,000	279,000	68,000
今 回 修 正 予 想 （ Ｂ ）	577,000	329,000	340,000	98,000
増 減 額 （ Ｂ － Ａ ）	42,000	48,000	61,000	30,000
増　減　率 （　％　）	7.9	17.1	21.9	44.1

２.通期連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 （ Ａ ）	1,058,000	571,000	593,000	164,000
今 回 修 正 予 想 （ Ｂ ）	1,089,000	587,000	607,000	168,000
増 減 額 （ Ｂ － Ａ ）	31,000	16,000	14,000	4,000
増　減　率 （　％　）	2.9	2.8	2.4	2.4

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想	今回修正予想
原油価格 （ブレント）	通期平均　100.0ドル/バレル	第１四半期実績　108.9ドル/バレル 第２四半期以降　100.0ドル/バレル 通期平均　102.2ドル/バレル
為替 （対米ドル）	通期平均　80.0円/ドル	第１四半期実績　80.2円/ドル 第２四半期以降　80.0円/ドル 通期平均　80.0円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

２．その他の情報

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

当四半期連結累計期間に特定子会社となった会社　１社（INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd）

同社は当第１四半期連結累計期間から重要性が増したことにより新規に連結の範囲に含めており、増資によって同社の資本金額が当社の資本金額の100分の10以上になったため、特定子会社となりました。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	275,903	304,550
受取手形及び売掛金	119,459	95,876
有価証券	399,382	331,527
たな卸資産	11,977	13,317
その他	114,992	110,854
貸倒引当金	△13,013	△13,270
流動資産合計	908,702	842,855
固定資産		
有形固定資産	383,697	425,413
無形固定資産		
のれん	94,601	92,911
その他	138,716	200,156
無形固定資産合計	233,317	293,068
投資その他の資産		
投資有価証券	886,222	815,416
生産物回収勘定	568,318	583,755
その他	193,806	211,168
貸倒引当金	△715	△753
生産物回収勘定引当金	△100,671	△103,197
探鉱投資引当金	△6,280	△4,204
投資その他の資産合計	1,540,679	1,502,185
固定資産合計	2,157,695	2,220,666
資産合計	3,066,397	3,063,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,228	29,994
短期借入金	4,801	4,337
未払法人税等	139,144	113,081
探鉱事業引当金	5,551	8,701
役員賞与引当金	128	33
資産除去債務	3,337	3,929
その他	184,651	167,805
流動負債合計	367,843	327,884
固定負債		
長期借入金	313,972	305,831
退職給付引当金	6,340	6,387
特別修繕引当金	367	376
資産除去債務	9,804	9,661
その他	53,875	56,600
固定負債合計	384,361	378,857
負債合計	752,204	706,742

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	679,287
利益剰余金	1,219,526	1,274,877
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,184,375	2,239,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,952	△2,923
繰延ヘッジ損益	4,118	1,833
為替換算調整勘定	△16,195	△20,811
その他の包括利益累計額合計	△5,124	△21,902
少数株主持分	134,941	138,954
純資産合計	2,314,193	2,356,779
負債純資産合計	3,066,397	3,063,521

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	294,916	310,806
売上原価	94,861	104,320
売上総利益	200,054	206,485
探鉱費	6,684	1,750
販売費及び一般管理費	17,130	17,570
営業利益	176,239	187,164
営業外収益		
受取利息	1,112	1,498
受取配当金	1,353	1,073
投資有価証券売却益	－	4,232
持分法による投資利益	1,979	3,365
持分変動利益	4,678	－
権益譲渡益	－	15,304
為替差益	－	2,806
その他	1,480	1,422
営業外収益合計	10,603	29,704
営業外費用		
支払利息	287	293
生産物回収勘定引当金繰入額	3,958	1,493
探鉱事業引当金繰入額	1,658	3,096
投資有価証券評価損	133	3,305
為替差損	664	－
その他	1,812	1,365
営業外費用合計	8,513	9,554
経常利益	178,329	207,314
税金等調整前四半期純利益	178,329	207,314
法人税、住民税及び事業税	135,153	128,546
法人税等調整額	629	6,596
法人税等合計	135,782	135,142
少数株主損益調整前四半期純利益	42,546	72,172
少数株主利益	2,369	2,217
四半期純利益	40,177	69,954

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	42,546	72,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△388	△9,880
繰延ヘッジ損益	－	△2,284
為替換算調整勘定	780	△6,033
持分法適用会社に対する持分相当額	479	1,649
その他の包括利益合計	870	△16,549
四半期包括利益	43,417	55,622
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,979	53,177
少数株主に係る四半期包括利益	2,438	2,445

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	－	207,314
減価償却費	－	13,485
のれん償却額	－	1,690
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	－	2,356
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	－	3,048
退職給付引当金の増減額（△は減少）	－	44
その他の引当金の増減額（△は減少）	－	399
受取利息及び受取配当金	－	△2,572
支払利息	－	293
為替差損益（△は益）	－	△450
持分法による投資損益（△は益）	－	△3,365
権益譲渡益	－	△15,304
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△4,232
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	－	12,510
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	－	△5,404
売上債権の増減額（△は増加）	－	24,244
たな卸資産の増減額（△は増加）	－	△1,288
仕入債務の増減額（△は減少）	－	△312
その他	－	10,581
小計	－	243,038
利息及び配当金の受取額	－	4,157
利息の支払額	－	△780
法人税等の支払額	－	△166,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	－	80,098
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△32,642
定期預金の払戻による収入	－	23,844
長期性預金の払戻による収入	－	5,000
有形固定資産の取得による支出	－	△49,265
有形固定資産の売却による収入	－	31
無形固定資産の取得による支出	－	△284
有価証券の取得による支出	－	△2,600
有価証券の売却及び償還による収入	－	78,153
投資有価証券の取得による支出	－	△10,098
投資有価証券の売却及び償還による収入	－	10,305
生産物回収勘定(資本支出)の支出	－	△22,372
短期貸付金の増減額（△は増加）	－	50
長期貸付けによる支出	－	△36,434
長期貸付金の回収による収入	－	42
権益取得による支出	－	△81,504
権益譲渡による収入	－	13,905
その他	－	2,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	－	△101,263

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	－	△807
少数株主からの払込みによる収入	－	1,567
配当金の支払額	－	△11,836
その他	－	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	－	△11,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	△6,622
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	△38,874
現金及び現金同等物の期首残高	－	249,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	－	210,359

（4）　継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

該当事項はありません。

(5)　セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア(欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	24,679	117,932	19,769	131,169	1,366	294,916	－	294,916
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	24,679	117,932	19,769	131,169	1,366	294,916	－	294,916
セグメント利益又は損失（△）	3,933	74,738	11,472	92,948	△4,232	178,860	△2,621	176,239

（注）１　セグメント利益の調整額△2,621百万円は、セグメント間取引消去59百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,680百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア(欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,027	143,039	20,031	120,550	1,157	310,806	－	310,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	26,027	143,039	20,031	120,550	1,157	310,806	－	310,806
セグメント利益又は損失（△）	4,888	91,073	9,878	84,598	△805	189,633	△2,468	187,164

（注）１　セグメント利益の調整額△2,468百万円は、セグメント間取引消去56百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,524百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

該当事項はありません。

（7）　重要な後発事象

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

該当事項はありません。

４．参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年4月１日 至　平成23年6月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
日本	原油	0.3百万バレル (日量3.2千バレル)	0.3百万バレル (日量3.5千バレル)
	天然ガス	9.5十億CF (日量104.4百万CF)	10.8十億CF (日量118.6百万CF)
	小計	2.1百万BOE (日量22.8千BOE)	2.3百万BOE (日量25.8千BOE)
	石油製品	53.5千kl (336.3千バレル)	48.0千kl (301.9千バレル)
	ヨード	104.8t	113.0t
	発電	40.7百万kWh	44.4百万kWh
アジア・オセアニア	原油	5.0百万バレル (日量54.6千バレル)	6.3百万バレル (日量69.4千バレル)
	天然ガス	75.3十億CF (日量828.0百万CF)	57.0十億CF (日量626.0百万CF)
	小計	19.3百万BOE (日量212.2千BOE)	17.1百万BOE (日量188.3千BOE)
ユーラシア（欧州・NIS諸国）	原油	2.4百万バレル (日量26.3千バレル)	2.4百万バレル (日量26.3千バレル)
中東・アフリカ	原油	13.9百万バレル (日量152.6千バレル)	14.0百万バレル (日量153.4千バレル)
米州	原油	0.5百万バレル (日量5.1千バレル)	0.1百万バレル (日量0.6千バレル)
	天然ガス	6.9十億CF (日量75.9百万CF)	6.0十億CF (日量65.4百万CF)
	小計	1.7百万BOE (日量18.9千BOE)	1.1百万BOE (日量12.4千BOE)
合計	原油	22.0百万バレル (日量241.9千バレル)	23.0百万バレル (日量253.2千バレル)
	天然ガス	91.8十億CF (日量1,008.3百万CF)	73.7十億CF (日量810.0百万CF)
	小計	39.4百万BOE (日量432.7千BOE)	37.0百万BOE (日量406.1千BOE)
	石油製品	53.5千kl (336.3千バレル)	48.0千kl (301.9千バレル)
	ヨード	104.8t	113.0t
	発電	40.7百万kWh	44.4百万kWh

(注)1　海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
2　原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
3　原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
4　上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、４月１日から６月30日の実績となっております。
5　当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第１四半期連結累計期間は原油31.2百万バレル(日量343.3千バレル)、天然ガス131.0十億CF(日量1,439.7百万CF)、合計56.1百万BOE(日量616.5千BOE)、当第１四半期連結累計期間は原油30.5百万バレル(日量334.8千バレル)、天然ガス103.1十億CF(日量1,132.7百万CF)、合計50.0百万BOE(日量549.3千BOE)となります。
6　BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
7　石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
8　ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
9　数量は単位未満を四捨五入しております。
10　前連結会計年度末より天然ガスから原油への換算方法を変更したことに伴い、前第１四半期連結累計期間の原油及び天然ガス小計につきましても、前期比較の便宜上から換算方法変更後の数値を記載しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	区分	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）		当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	71 千バレル	696	1千バレル	15
	天然ガス (LPG を除く)	14,337 百万 CF	16,366	14,779百万 CF	18,439
	LPG	68 千バレル	808	73千バレル	846
	その他		6,807		6,725
	小計		24,679		26,027
アジア・オセアニア	原油	3,237 千バレル	30,527	5,729千バレル	54,656
	天然ガス (LPG を除く)	73,152 百万 CF	86,041	58,006百万 CF	80,921
	LPG	200 千バレル	1,363	1,069千バレル	7,460
	小計		117,932		143,039
ユーラシア(欧州・NIS 諸国)	原油	2,051 千バレル	19,769	2,309千バレル	20,031
中東・アフリカ	原油	14,230 千バレル	131,169	13,844千バレル	120,550
米州	原油	20 千バレル	144	18千バレル	158
	天然ガス (LPG を除く)	7,079 百万 CF	1,222	6,096百万 CF	999
	小計		1,366		1,157
合計	原油	19,608 千バレル	182,307	21,902千バレル	195,412
	天然ガス (LPG を除く)	94,568 百万 CF	103,630	78,881百万 CF	100,360
	LPG	268 千バレル	2,171	1,142千バレル	8,307
	その他		6,807		6,725
	合計		294,916		310,806

（注）1　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2　決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から3月の業績を第1四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
3　販売量は、単位未満を四捨五入しております。
4　主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プルタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、LNGとして日本をはじめ、韓国、台湾等の需要家へ販売しております。

相手先	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）		当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	
	金額 （百万円）	割合 （%）	金額 （百万円）	割合 （%）
プルタミナ	57,085	19.4	64,783	20.8